

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和5年度（2023年度）第3四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・この四半期の来館者数は4,287人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値5,892人に対して、約72.8%の来館者数であり、評価水準の80%に満たなかった。
- ・昨年度の同四半期来館者数5,520人と比較すると1,233人、約22.3%減少した。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・保守点検を計画どおり、適切に実施した。

● 施設の運営

- ・展覧会のチラシやポスター等を作成し、周知を積極的に実施した。
- ・窓口における受付及び施設案内を適切に実施した。
- ・SNSを活用し、館及び展覧会の周知を積極的に実施した。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・10月1日から18日までは、前四半期から引き続き特別展「清方×文学—紅葉への憧憬、鏡花との友情—」を開催した。同月21日から11月26日までは、特別展「清方と弟子たち—師弟で目指した芸術—」を開催し、清方門弟の画業の普及にも努めた。12月2日から28日に開催した企画展「春を待つ—清方が描いた新春—」では、時季に合わせ、新春の風情に取材した作品を展示した。

* 展示替 10月19～20日に71点、11月28日～12月1日に73点の展示替をそれぞれ実施した。

- ・計20回の展示解説を行い、318人が参加した。
- ・10月3日から9日まで、地下道ギャラリー50で子ども参加プログラムの作品を展示した。
- ・10月14日と15日に、日本画制作実演を開催した。(参加者36人)
- ・10月29日に日本画ワークショップ「胡粉を使って、日本画を描いてみよう！」を開催した。(参加者23人)
- ・11月14日に美術講演会「清方からうけつぐ細緻流麗—山川秀峰の画業と生涯」を開催した。(参加者23人)
- ・12月2日に北鎌倉葉祥明美術館・鎌倉歴史文化交流館との連携企画イベント「北鎌倉・鎌倉ミュージアム散策—現代から鎌倉時代にタイムトラベル」を開催した。(参加者26人)
- ・12月17日に日本画ワークショップ「日本画材でかるたに絵を描いてみよう！」を開催した。(参加者24人)

● その他必要な業務

- ・鏑木美術品の調査研究を実施した。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品の所在確認を10月24日、11月16日、12月21日に実施した。結果は良好であった。
- ・美術品の適切な温湿度管理を実施した。

● 調査・研究

10月

- ・石版画の転写製版についての調査
- ・バリアフリー展示と解説の実例調査
- ・清方の日記の調査
- ・山川秀峰の新版画の調査
- ・清方の芝居のスケッチの調査

11月

- ・雑誌『文藝倶楽部』の新年号の付録についての調査
- ・鯨崎英朋の口絵についての調査
- ・雑誌『文芸界』の調査
- ・清方の日記の調査
- ・雑誌『アトリエ』の調査
- ・個人蔵作品の実見調査

12月

- ・清方の「道成寺」に関する文章の調査
- ・清方の舞台に関する文章の調査
- ・清方の日記の調査
- ・雑誌『文芸界』の調査
- ・伊東深水作品の資料調査
- ・門井掬水の画業についての文献調査
- ・門井掬水の作品の実見調査
- ・清方門弟作品の実見調査

いずれも計画どおり調査・研究を実施した。
出版物の管理及び保管を適切に実施した。

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書を決められた期日までに提出した。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新を適切に実施した。
- ・市民への周知として市広報に展覧会の情報を掲載した。

● 事故・苦情対応

- ・特になし

● その他

- ・4月1日から引き続き、インターン生を受け入れた。(1名、慶應義塾大学大学院)
- ・5月15日から引き続き、近隣4館との連携でスタンプラリーを実施した。
- ・10月6日に佐助保育園園児の見学を受入れた。
- ・10月7日に大佛次郎記念館へ講師を派遣し、出張日本画ワークショップを開催した。

6 全体評価

・この四半期の来館者数は4,287人で、昨年同四半期の5,520人に比べて、1,233人・約22.3%分減少した。また、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(5,892人)の約72.8%と、評価水準の80%に満たなかったため、5点減点とする。この四半期は、清方と交流のあった尾崎紅葉と泉鏡花それぞれの周年に注目した特別展を開催した他、清方の弟子に焦点を当てた展示を行った。また、秋の行楽シーズンに合わせ、美術講演会や近隣館との連携イベントを実施したほか、展示解説も回数を増やして毎週行うなど、来館者の増加に向けて取り組んだ様子が随所に見られた。来館者数の評価水準80%には満たなかったものの、多角的な視点から展示や企画に取り組む姿勢は評価する。依然としてコロナ禍前の状況に戻っていないが、引き続き時流を適切に分析し、より効果的な広報活動に取り組まれない。

・高校生インターンシップと学芸員実習の受け入れや、未就学児への鑑賞機会の提供といった社会貢献及び教育普及活動に積極的な姿勢は評価できる。

・作品及び資料の調査研究を引き続き計画的に進めるとともに、その成果をより多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まれない。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和5年度（2023年度）第3四半期判定評価

評価項目	判定点	第4四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	0	×	5
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			5
総計	112		

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

特記事項
特になし。

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%